

ご 挨拶

地球温暖化による気候変動というのは、夏は酷暑、冬は厳寒、つまり我が祖国日本や日本人が誇る四季を感じられなくなることだそうです。

皆様には厳しい気象条件に順応され、お健やかにお過ごしのこととお喜び申し上げます。

生前契約はお陰様をもちまして、今年の10月で満20年を迎えることができました。これもひとえに皆様のご支援ご協力の賜と御礼申し上げます。

13期の決算を終了致しましたが、多少の赤字計上となりました。

ご寄附はそれなりに頂戴したのですが、地球に恩返し森づくり関連の出費がかさんだことが赤字の要因でございます。

地球に恩返し運動は、多くの契約利用者の皆様からご支援をいただき、“地球に恩返し”基金への特定遺贈遺言をお作り下さった方々も多数おられますので、一般会計に影響を及ぼすのはここ数年だと思います。

「生前契約」事業は税法等では公益事業と認め難いとの指摘を受け、忸怩たる思いを致しておりますが、森づくりは紛れもなく公益事業であり、文字通り“母なる地球へ恩返し”という崇高な営みでございます。

同時に森から恵みを享けようという方向で事業をすすめており、夏には森の畑で収穫した純正小麦粉をお届けし、生しいたけも順次お届けするなど、地球に恩返しを実感していただけることを願っております。

新木場りすセンターの存在が今後ますます利用者の皆様の安心の拠りどころとなっていることを実感しております。

最後になりましたが、生前契約20周年記念誌へのご寄稿、改めて御礼申し上げます。今後ともご支援ご協力くださいますよう、心からお願い申し上げます。

寄付一覧

事業年度	期間	寄付金	特定寄付金	不動産寄付	合計
第9期	2008年7月～2009年6月	55,104,346	100,556,004		155,660,350
第10期	2009年7月～2010年6月	38,432,117			38,432,117
第11期	2010年7月～2011年6月	135,757,763		22,972,478	158,730,241
第12期	2011年7月～2012年6月	199,219,781		2,177,294	201,397,075
第13期	2012年7月～2013年7月	154,216,986			154,216,986
	合 計	582,730,993	100,556,004	25,149,772	708,436,769

2013年12月

特定非営利活動法人りすシステム

代表理事 杉山 歩

第13期 報告書

(平成24年7月1日から平成25年6月30日まで)

特定非営利活動法人りすシステム

I. 第13期事業報告書

特定非営利活動法人りすシステムは、生前契約に関する啓蒙普及事業、死後事務契約の受託事業、生前事務契約の受託事業、地球に恩返し運動事業および利用者支援事業を中心として活動をしておりますが、定款に記載した事業別（12 に区分できます）に当期の活動状況を説明しますと以下の通りです。

1. 生前契約に関する啓蒙普及事業

イ) 定期説明会の実施

各支部で毎月1回実施し、説明会参加者数は719人でした。

ロ) 講演実施およびテレビ・新聞・雑誌等での紹介

講演：東京：平成24年7月、平成25年6月

横浜：平成24年7月、8月

大阪：平成25年3月

新聞：日本経済新聞、毎日新聞、日刊スポーツ新聞、中外日報各々1回、
夕刊フジ2回

雑誌：主婦と生活社「ねんきん生活」、主婦の友社「ゆうゆう」、
家の光協会「もしもの時に役立つ・幸せエンディングノート」

2. 死後事務契約（祭祀主宰を含む）の受託事業

イ) 死後事務契約受託

各支部で通年実施し、死後事務契約者数は212人でした。

ロ) 死後事務の履行

死後事務を履行した件数は43件でした。

3. 生前事務契約（療養看護、身上監護、財産管理等生活支援）の受託事業

イ) 生前事務契約受託

各支部で通年実施し、生前事務契約者数は204人でした。

ロ) 生前事務の履行

各支部で通年実施し、生前事務を履行した件数は1,477件および入院・入居・
旅行・就職等に係る保証をした件数は267件でした。

4. 任意後見契約の受託並びに成年後見人等の受託事業

イ) 後見事務契約受託

各支部で通年実施し、任意後見契約者数は204人でした。

ロ) 後見事務の履行

東日本・北日本・中部日本・西日本・九州支部で通年実施し、後見事務を
履行した件数は157件でした。

5. 生前契約に係る遺言に関する事業

遺言作成のサポート事務受託を各支部で通年実施し、遺言公正証書作成者数は 172 人でした。

6. 目的達成に必要な人材育成および出版に関する事業

イ) りすシステムスタッフの研修

元最高裁判事による「民法の基礎および実務研修」および杏林大学医学部教授による「人体の成り立ち」をりすセンターで 4 回実施し、延べ 140 人参加しました。

ロ) 書籍販売

各支部で通年実施しました。

7. 葬送環境科学研究所による地球にやさしい葬法の調査研究、開発、啓蒙普及事業

イ) 調査研究および開発

NPO 地球に恩返しの森づくり推進機構と協力して「エコ人権葬」運動を推進しています。自分の葬儀に必要な二酸化炭素を植樹によって相殺することを目的にした「地球に恩返し基金運動」を実施しています。

ロ) ニュージーランド撒骨

当期は実施しておりません。

8. 地球に恩返し運動（森づくり等）に関する事業

大分県の功德院の周辺に土地を購入し、地球に恩返しの森づくり（薬用樹木の森を含む）を実施しています。20 周年記念事業として神農さんの薬用樹木づくりが進んでいます。

9. 葬送 110 番の設置等葬送に関する相談および支援事業

葬送に関する電話相談事業を本部で通年実施し、相談件数は 551 件でした。

10. 生活支援テレフォンの設置等生活支援に関する相談事業

日常生活で気になること等、暮らしの相談に関する電話相談事業を本部で通年実施し、相談件数は 451 件でした。

11. 生前契約利用者に対する支援事業

イ) 会報誌「りす倶楽部」発行

生前契約利用者を対象に本部で毎月 1 回発行（合併号あり）し、発行部数は年間 30,100 部です。

ロ) りす倶楽部の懇親会等

生前契約利用者を対象に各支部で実施し、実施回数は 123 回で参加者数は 690 人でした。

ハ) 24 時間コールセンター事業

生前契約利用者を対象にりすセンターで通年実施し、コールセンター利用件数は年間 612 件でした。

ニ) りすセンター・新木場事業

りすセンター・新木場が生前契約利用者およびその他の一般の方を対象として平成 23 年 1 月にオープンしました。人が亡くなったときに遺体を預かりそして亡くなった方に相応しい弔いをどうしたらよいかをその親族が一息ついて相談できる施設として利用されています。822 人の方が来場され、利用されました。

ホ) 支部での各種支援事業

生前契約利用者の来所相談および電話相談を各支部で通年実施し、来所相談者数は 701 人及び電話相談件数は 4,012 件でした。

ヘ) 医療に関する相談事業

生前契約利用者を対象に保健師 OB のご協力を得て東日本・中部日本・西日本支部で通年実施し、多数の人の相談を受けています。

ト) その他の支援活動事業

- ① 生前契約利用者を対象にセコム株式会社と提携した安否確認サービス（セコムで見守り、緊急時に各支部（夜間は新木場）で対応する仕組）を通年実施し、現在までに 160 世帯の方が利用しています。
- ② 生前契約利用者を対象に株式会社りすネットの協力を得て、住み替えや不動産売却の相談を各支部で通年実施し、多数の人の相談を受けています。

12. りすシステムと同じ目的を持つ特定非営利活動法人の設立、運営、支援に関する事業

国際ボランティア活動を普及・振興するための教育・実践・研究活動をタイを中心とする途上国内で執り行っている「NPO 法人草の根国際協力研修プログラム」に支援しました。

Ⅱ．第 13 期収支計算書

上記のⅠ．第 13 期事業報告書で記載した事業活動を実施しました結果、経常収支差額は△21,302 千円となりました。経常的な事業活動からの経常収入は 326,354 千円【会費・入会金収入 59,223 千円（生前契約利用会費等 34,322 千円、維持会費 24,901 千円）、事業収入 110,407 千円、寄付金等収入 154,216 千円（助成金収入 8,500 千円含む）および雑収入 2,506 千円】であり経常支出は 347,657 千円【事業費 320,611 千円および管理費 27,045 千円】であった結果です。

また、この経常収支差額にその他資金収支差額△40,475千円を加えた当期収支差額は△ 61,777 千円となり、前期繰越収支差額 31,425千円を加えた次期繰越収支差額は△ 30,352 千円となりました。

なお、当期収支差額に正味財産増減額を加味した当期正味財産は 33,145 千円減少し、これに前期繰越正味財産 42,953 千円を加えた当期正味財産合計は 9,808 千円となりました。

第 13 期収支計算書（要旨）

自 平成 24 年 7 月 1 日 至 平成 25 年 6 月 30 日

（単位：千円）

科 目	金 額	
（資金収支の部）		
Ⅰ 経常収入の部		
1 会費・入会金収入	59,223	
（生前契約利用会費収入等）	(34,322)	
（維持会費収入）	(24,901)	
2 事業収入	110,407	
3 寄付金等収入	154,216	
4 雑収入	2,506	
経常収入合計		326,354
Ⅱ 経常支出の部		
1 事業費	320,611	
2 管理費	27,045	
経常支出合計		347,657
経常収支差額		△21,302
Ⅲ その他資金収入の部		110,747
Ⅳ その他資金支出の部		151,222
当期収支差額		△61,777
前期繰越収支差額		31,425
次期繰越収支差額		△30,352

この第 13 期収支計算書（要旨）の経常収入と経常支出をⅠ．第 13 期事業報告書で記載した定款の事業別に記載しますと以下の通りです。

受託事業（定款事業の 2．死後事務受託、3．生前事務受託、4．後見事務受託および 5．遺言執行受託）は収入と支出がほぼ見合っております。

受託事業以外の生前契約事業の啓蒙普及活動、地球に恩返し運動活動および利用者支援活動等から発生する支出に管理費を合計した経常支出を会費・入会金収入、寄付金等収入および雑収入で賄えず、経常収支差額はマイナスとなっています。寄付金収入が少なかったことが経常収支差額がマイナスになった大きい要因です。

第 13 期定款事業別経常収入、経常支出および経常収支差額の状況

（単位：千円）

定款事業	経常収入		経常支出		経常収支差額
	勘定科目	金額	勘定科目	金額	金額
1.生前契約啓蒙普及	事業収入	1,689	事業費	69,331	
2.死後事務受託	事業収入	44,600	事業費	40,207	
3.生前事務受託	事業収入	49,843	事業費	48,647	
4.後見事務受託	事業収入	6,226	事業費	7,321	
5.遺言執行受託	事業収入	1,818	事業費	2,662	
6.生涯教育・出版	事業収入	2,299	事業費	7,072	
7.葬法調査研究		—	事業費	5,223	
8.地球に恩返し運動		—	事業費	39,409	
9.葬送 110 番相談		—	事業費	1,858	
10.生活支援相談		—	事業費	2,676	
11.利用者支援	事業収入	3,930	事業費	91,438	
12.他のNPO 法人支援		—	事業費	4,762	
	事業収入 計	110,407	事業費 計	320,611	
			管理費	27,045	
	合計	110,407	合計	347,657	
	会費・入会金収入	59,223			
	(利用会費収入等)	(34,322)			
	(維持会費収入)	(24,901)			
	寄付金等収入	154,216			
	雑収入	2,506			
	経常収入合計	326,354	経常支出合計	347,657	Δ21,302

Ⅲ. 第 13 期貸借対照表

上記のⅠ. 第13期事業報告書で記載した事業を実施しました結果、第13期末の正味財産は第12期末に較べて 33,145 千円減少しました（この金額には、Ⅱ. 第13期収支計算書で記載した当期収支差額△61,777 千円を含んでいます）。なお、資産合計は 446,232千円、負債合計は 436,424千円、正味財産合計は 9,808千円という状況です。

第 13 期貸借対照表（要旨）

平成 25 年 6 月 30 日現在

（単位：千円）

科 目	金 額	
I 資産の部		
1 流動資産		
現金預金	34,769	
商品（納骨堂利用権）	17,100	
その他	73,374	
流動資産合計		125,244
2 固定資産		
土地	49,079	
保全・遺言預り資産	143,125	
その他	128,783	
固定資産合計		320,988
資産合計		446,232
II 負債の部		
1 流動負債		
活動負担金	85,000	
未払費用	12,906	
その他	55,286	
流動負債合計		153,193
2 固定負債		
長期借入金	64,027	
保全基金・遺言預り金	144,710	
その他	74,493	
固定負債合計		283,231
負債合計		436,424
III 正味財産の部		
前期繰越正味財産		42,953
当期正味財産減少額		33,145
正味財産合計		9,808
負債及び正味財産合計		446,232